

令和6年度 第2回浦安市学びの多様化学校開設等検討委員会 議事要旨

令和7年1月7日承認

- 1 開催日時 令和6年10月8日(火) 午前9時30分から午前11時00分
- 2 場 所 浦安市文化会館3階 中会議室
- 3 出席者 (委員)藤川委員長(千葉大学教授)、大塚副委員長(教育総務部長)、山田委員(浦安中学校校長)、丸山委員(東小学校校長)、北嶋委員(生涯学習部次長)、森委員(企画部次長)、落合委員(教育総務部次長)、小池委員(教育政策課課長)、鳥海委員(学務課課長)、村上委員(指導課課長)、青山委員(教育センター所長)  
(オブザーバー)千葉県教育庁教育振興部児童生徒安全課不登校児童生徒支援室職員2名  
いちよう学級猫実統括指導員1名  
(事務局)指導課職員4名
- 4 傍聴人 6名
- 5 次 第 (1) 令和6年度第1回浦安市学びの多様化学校開設等検討委員会議事録の確認について  
(2) 報告事項 1 これまでの取り組みについて  
(3) 協議事項 1 対象生徒の選考方法等について  
2 今後のスケジュールについて
- 6 議事の概要  
(1) 令和6年度第1回浦安市学びの多様化学校開設等検討委員会議事録について、事務局より説明し、承認を行った。  
(2) これまでの取り組みとして、以下の内容について事務局より報告をした。
  - 1 市立浦安中学校学びの多様化学校分教室学校説明会に向けた事前相談会について
  - 2 (仮称)浦安市立浦安中学校分教室学びの多様化学校設置規則(素案)について
  - 3 市立浦安中学校学びの多様化学校分教室学校説明会について
  - 4 入室検討に向けた三者面談について  
(3) 対象生徒の選考方法について事務局より説明をした。  
(4) 今後のスケジュールについて事務局より説明をした。
- 7 会議経過  
(1) 令和6年度第1回浦安市学びの多様化学校開設等検討委員会議事録について  
<説明>

前回の議事録の内容について確認し、承認を行った。

(2) これまでの取り組みについて

< 報告 >

以下の内容について事務局より報告をした。

- 1 市立浦安中学校学びの多様化学校分教室学校説明会に向けた事前相談会について
- 2 (仮称)浦安市立浦安中学校分教室学びの多様化学校設置規則(素案)について
- 3 市立浦安中学校学びの多様化学校分教室学校説明会について
- 4 入室検討に向けた三者面談について

< 事務局より >

前回の検討委員会での検討事項としていた、小学校6年生の入室時期については、後期からの入室も検討していたが、事務局で検討した結果、4月入室としていきたいと考えている。

< 意見 >

学校説明会では保護者は高校受験につながる成績評価について気にしていた。また、教室が完成していないことや教育課程、学習内容がイメージしにくく、保護者が迷う点であるように感じた。具体的なイメージができると、入室を決断できると思う。

< 質疑 >

成績評価については、県立高等学校にはどのような評価で提出されるのかが重要だと思うが、県教委の担当課と相談などは行っているか。また、他の地域の学びの多様化学校の状況はどうか。

< 回答 >

県教委には相談をしているが、県内初の学びの多様化学校ということもあり、具体的な回答はまだである。また、視察に行った学校での評価方法については学校によってそれぞれであった。

< 要望 >

評価については学校で基準を作っていくのだと思うが、入試の際にどう受け取られるのか。公立の高等学校や私立の推薦入試などについて、都内の学びの多様化学校がどのようにしているのか。浦安単独というよりは、県教委と相談して進めてほしい。

< 質疑 >

学校の名称は、浦安市立浦安中学校分教室学びの多様化学校で決定なのか。愛称は検討しているか。また、資料には入室とあるが、入学ではなく入室なのか。

< 回答 >

学校の名称は現段階では仮称である。愛称については、当初は子どもたちに考えてもらうことも考えていたが、現在、教育委員会で検討して決めていく予定。

入室という言葉は他の分教室型の学びの多様化学校を参考にした。

< 意見 >

途中入室について、どのような流れで入室に向けて動いていくのか検討してお

く必要がある。また、今後、定員数よりも人数が増えた場合のことについても検討しておく必要がある。

<意見>

前回の議事録から、不登校の状態について他県の混乱期、低迷期、回復期とあるが、不登校の背景とどの時期の不登校の児童生徒を対象とするのかを保護者や学校関係者に示せるとよい。また、子どもたちの視点からすると、入学や登校といった言葉が分かりやすいだろう。

<要望>

職員の希望の取り方や周知の仕方、高校入試等について、今後のことは少しスピードをあげて進めていく必要がある。

### (3) 対象生徒の選考方法等について

<説明>

別添資料により事務局より説明をした。

<質疑>

選考について、明文化された基準はあるのか。

<回答>

他の自治体の規則を参考にしている。また、三者面談の内容や校長先生の意見書等を参考にしていきたいと考えている。「審査」という言葉を使わないように配慮している。

<要望>

運営委員会という名称について、所掌事務との関係が分かりにくくなることは避けた方がよい。また、申請後の運営委員会で否の判断は出しにくいのではないか。それまでの面談等が大事になるので、運営委員会の方にもそれまでの流れを理解してもらう必要がある。また、可と否ではなく、差し戻すようなイメージではどうか。

### (4) 今後のスケジュールについて

<説明>

別添資料により事務局より説明をした。

<質疑>

今後のスケジュールは開校に向けた今年度のものなのか、次年度も同様の流れで行うのか。次年度の学校説明会対象は新1年生のみに限らずに行うのか。また、年度途中で入室を検討する場合も同様の流れで行うことになるのか。

<回答>

示しているものは今年度のもので、次年度についてはSTEP2の学校説明会以降の入室手続きの流れで行っていく予定。また、対象者は新1年生中心となる。2、3年生については定員とのかかわりも出てくる。年度途中の入室について

ては、STEP 3の個別面談から行っていく予定である。

< 質疑 >

STEP 4の体験入室の4週間程度は、期間として長いのではないか。また、小学校6年生の体験の場合は、中学生と一緒に活動は難しいのではないか。

< 回答 >

一週間ごとに、見学、体験と少しずつ体験時間を延ばしてステップアップしていくイメージをしている。小学校6年生については、見学会という形になる。今後、職員の配置も含めて、入室の流れや体験入室の期間については、いちょう学級も参考にしていきたい。

< 意見 >

年度途中の受け入れや入室手続きの流れ、体験入室等については検討していくとよい。開校時期については、初年度ということもあり準備期間が短いため、柔軟な対応を考えてもよいのではないか。千葉市の夜間中学校では、初年度に開校を遅らせた事例もある。生徒の顔合わせや個別面談等を行い、慣れていく時間等に充ててもよいのではないか。

< 要望 >

途中入室については随時になるのか、ある程度の時期を示すのか。学期ごとや年間5回程度といった時期の示し方もある。運営委員会もかかわってくるので、整理する必要がある。

< 意見 >

事務局より連絡事項を伝え、閉会。

問い合わせ先

教育総務部指導課(教育センター) 担当 檜 伸一

電話 047-381-7961